

## 日本人のスギ花粉症

テレビの天気予報を見ると、いつも、晴れ、雨、曇りなどのマークが出てくる。ところが、毎年2月に入ると、各県ごとに女性の顔が出てくる。その中には、マスク（口と鼻を覆う白い布）をしている女性もいるが、これは何のマークだろうか。インフルエンザ（流感）のマークではない。花粉症が猛威をふるう季節が来たので、スギの花粉が大量に飛びそうな県の女性はマスクをして注意を呼びかけているのだ。これを「花粉情報」と呼んでいる。

花粉を吸い込んで、かかる病気を「花粉症」と言う。人には体内に入った異物の蛋白質を排除しようとする免疫反応がある。アレルギー体質の人が、長年スギの花粉を吸っていると、免疫反応が過剰に起こり、目、鼻の粘膜を刺激し、目が充血して、涙やくしゃみが止まらなくなる。この病気は30年ほど前に発見された。アンケート分析によると日本人の10人に3人は花粉症に悩まされているようだ。アレルギー症状は、鼻、目が圧倒的に多く、その他、のど、皮膚、気管支などにも出る。マスクの女性が出たら、アレルギー体質の人は外出を控えるか、花粉が目、鼻、口に入らないようにサングラスやマスクをしたうえで風の向きや強さに気をつけて、外出したほうがいいだろう。

スギの花粉が風に乗って飛び散る様子を見たことがある。強い風が吹くと、何千本というスギの雄花から花粉が一斉に吹き飛ばされる。米粒大の雄花なの一つ一つに約40万個の花粉が詰まっている。この花粉が、霞のようにたなびいて、スギの林が見えなくなるほどだ。花粉症をおこす草花は、北アメリカではブタクサ、ヨーロッパではカバの木やコナラなどだが、日本では花粉症の8割をスギ花粉症が占めている。それは日本にスギの木が多いからだ。

理由は二つある。第一の理由は、第二次世界大戦後、日本は荒れた国土を緑にしようと、スギの苗を全国各地に植えた。20年後、そのスギが育ち、毎年春になると花粉が飛ぶようになったからだ。第二の理由は、日本人の食生活が欧米風になって、アレルギーを起こしやすくなったからだと言われている。スギ花粉症は、まさに日本人の現代病と言えるだろう。

花粉症は薬で、症状を軽くおさえることができる。またスギの花粉が飛ぶのは、2月初めから4月にかけてで、この季節が終われば自然になおる。それで、このシーズンが来ると、都内のデパートには花粉症対策グッズコーナーがお目見えし、メーカー各社からは、新型マスクから情報提供までの「花粉症商戦」が花盛りとなる。

東京新宿のデパートにオープンした「花粉症対策グッズ」コーナーには、マスク、眼鏡、目薬、鼻炎用の薬、空気清浄機、スチーム吸入器などがずらりと並んだ。吸入器は「昨シーズンは生産が追いつかなかったが、今年は増産体制をとっている」そうだ。数社が吸入器を発売しているので、シェア争いが始まっている。マスク、眼鏡は、花粉をできるだけシャットアウトして、しかも見た目には目立たないことがポイントだそうで、商品のモニターテストでは花粉遮断効果はかなりあることがわかった。マスクの場合は、ぬれたガーゼ1枚をマスクの中に重ねることで、効果がさらにアップするという。

空気清浄機では、空気を回転させずに、磁気で空中の花粉を取り除くタイプのものも登場している。またある会社では、日本気象協会の協力を得て、スギ花粉情報のテレホンサービスを関東を初め、他の地方でも実施するそうだ。

さて、春先になって、マスクとサングラスをかけた日本人が急に増えるわけがわかってもらえただろうか。

# 単語

スギ Japanese Cedar (tree)

花粉症 かふんしょう hay fever, pollinosis (allergy to pollen)

曇り くも cloudiness, cloudy weather

覆う おお to cover, to hide, to conceal

流感 りゅうかん influenza, flu, cold

猛威をふるう もうい raging (fury)

異物 いぶつ foreign substance

蛋白質 たんぱくしつ protein

排除(する) はいじょ exclude, removal, elimination

免疫 めんえき immunity

反応(する) はんのう reaction, response

体質 たいしつ constitution (physical), genetic make-up / 体の質

過剰 かじょう excess, over-

粘膜 ねんまく mucous membrane

刺激 しげき stimulus, impetus, encouragement, motivation

充血 じゅうけつ congestion (with blood)

くしゃみ(する) sneeze

分析(する) ぶんせき analysis, analyze, anatomize, dissect

症状 しやうじょう symptoms, condition

圧倒的(な) あつとうてき overwhelming, overpowering

気管支 きかんし bronchial tube

控える ひか to be temperate in, to hold back

雄花 おぼな male flower

一斉に いっせい together, all at once / 同時に

詰まる つ to choke, to clog, to fill

霞 かすみ 1. 霧 2. dimness (of sight)

たなびく to trail, to hang (smoke, clouds)

ブタクサ Ragweed (plant)

カバ Birch (tree)

コナラ Konara oak (tree)

荒れる あ to be stormy, to be rough, ruined, wasted, ravaged

苗 なえ seedling, sapling

植える う to plant, sow, pot

まさに exactly, surely, certainly

おさえる たいせく to hold back, suppress, contain, restrain

対策 たいさく counter-plan, counter-measure

お目見え(する) めみ debut / デビュー

花盛り はなざか bloom, boom, peak

鼻炎 びえん nasal inflammation

清浄(な) せいじよう pure, clean, purity

ずらり お in a row

追いつく お to overtake, to catch up, to gain up (upon)

体制 たいせい order, system, structure, organization, framework

目立つ めだ to stand out

遮断(する) しゃだん blockade, interception, isolation, cut off

磁気 じき magnetism

取り除く と のぞ to remove, to clear, to ease (of), to relieve

実施(する) じっし practise, operation, implementation, execute